

「ぬくもりを届けたい、手からこころへ……………」

# たまちゃん通信

平成 27 年 11 月発行 71-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302 / FAX : 0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL : http://www.otedama.jp

J A 岡山西で『公認審判員養成講習会』を開く

盛り上がるお手玉熱に対応して 30 人が受講

J A 岡山西女性部(倉敷市)では、お手玉熱が盛り上がり、お手玉大会の審判員が不足してきたため、お手玉遊び「公認審判員養成講習会」を、平成 27 年 9 月 15 日(火)に開催し、30 人が参加しました。

日本のお手玉の会の武田信之理事が講師を務め、「いま、なぜお手玉遊びなのか」の講話と、「お手玉遊びの競技と審判」の解説とロールプレイングによる審判の体験、模擬競技での審判実習を行いました。

講話では、岡山県が展開している「健康寿命延伸プロジェクト」に触れながら、認知症や老化防止、心と体の健康に効果がある「お手玉体操」で、『健康寿命』を延ばそう、と呼びかけました。

競技の種類とルール of 解説では、審判長、主審、副審、時計係の役割を説明した後、4 つの班に分かれて、審判旗の扱い方、声の出し方などを、相互研修で行いました。

時間の経過とともに、大きな声が出るようになり、旗の上げ下げも機敏に行えるようになり、緊張感の中にも、笑顔が見えるようになりました。



(旗の上げ下げも機敏になりました)



(交互に審判と選手を演じながらの実習)

個人戦、団体戦の模擬競技では、選手と審判を交互に演じて、自信をつけていきました。最後に、参加者全員に、日本のお手玉の会の『公認審判員認定証』が手渡されました。

参加者は、「これで、いつ大会が行われても、迷わず審判を務めることができます」と喜びを話し合っていました。

審判講習の後、「もしもしかめよ」を歌いながら、「健康寿命」延ばすための「お手玉体操」を体験しました。

「この『お手玉体操』を、女性部員はもとより、男性のみなさんにも広めて、みんなが、健康な体で長生きできるように、努力したい」と話していました。